

氏名： 河田 敦子
所属： 人間発達教育研究センター
職名： 特任アソシエイトフェロー
学位： 博士
専門分野： 日本教育史、教育行政史、教育制度史
E-mail： kawata.atsuko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

教育制度史／山県有朋／地方教育行政史／権力構造／地方制度
history of Japanese educational system / Aritomo Yamagata / structure of Nation power /
local administrative governmental system

◆主要業績

総数 (2) 件

- ・幕末明治の女性
内藤ますの生涯とその教養形成過程
ー「駿河紀行」全文翻刻付ー
- ・Influence of Moral Education Policy in Modern Japan:Philosophical Differences between Aritomo Yamagata and Arinori Mori

◆研究内容 / Research Pursuits

- ①筆者は、1880年代の近代日本地方教育行政制度成立過程における内務卿山県有朋の地方制度を通じた教育政策を解明し、2007年度に博士号を取得した。2009年度は、山県の一連の政策と、同時期に文部大臣だった森有礼の教育政策との関係を明らかにすることを課題とした。
- ②その研究結果は、博士論文に加筆し、2010年度学術振興会研究成果公開促進経費を獲得できたため、2010年度内に出版する予定である。
- ③山県と森の道德教育観の相違が近現代日本道德教育に与えた影響を論じ、英文モノグラフとして、2010年3月にお茶の水女子大学GCOEPROCEEDINGS09に掲載された。
- ④明治初期山梨県女子教育の先駆者として著名な女性内藤ますについて、彼女の教養がどのように形成されたかを研究した。『駿河紀行』という内藤ますが執筆した旅日記を基に新たな幕末明治の女性のライフヒストリーを描き出し、編著書『幕末明治の女性 内藤ますの生涯とその教養形成過程ー『駿河紀行』全文翻刻付ー』という刊行物を出版した。

◆教育内容 / Educational Pursuits

鎌倉女子大学非常勤講師（日本教育史）

武蔵野美術大学非常勤講師（通信：教育原理Ⅰ）

埼玉工業大学非常勤講師（道德教育研究）

◆研究計画

教育行政制度および教育制度が当該社会に生きる人々の価値観に如何に影響を与えるかを解明し、歴史的比較のみならず、国際比較ができるようになりたいと考えている。